

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《川和ナーサリー》	種別：認可保育所
代表者氏名：高鳥 恵理子	定員（利用人数）： 39（38）名
所在地：横浜市都筑区川和町1250-3ガーデンプラザ川和EAST2F	
TEL：045-929-2223	ホームページ： https://www.starchild.jp/nursery/kawawa/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2011年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：8名
専門職員	施設長：1名 保育士：16名
	栄養士：1名 調理員：2名
	事務：1名
施設・設備の概要	（居室数）：3室 （設備等）
	調理室、調乳室、事務室、乳児トイレ、多目的トイレ、職員休憩室など

③理念・基本方針

【保育理念】 「スターチャイルドは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。」
【保育目標・方針】 ・良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します） ・個性の豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします） ・やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>最寄り駅から徒歩1分、静かで自然に恵まれ、0～2歳の子どもに適した環境となっています。</p> <p>園舎は高い天井を生かすつくりになっています。いろいろなところに段差やアクセントをつけることで、生活の中で子ども達が自然に環境に適應する力がつくようになっています。年齢、クラスに関係なく、保育園全体が繋がる設計になっています。また、部屋に仕切りがないことで、子ども達が違うクラスの様子がわかり、お互いの存在をいつも感じ、よい意味で刺激し合っています。</p> <p>また、保育士同士も様々な気づきをすることができ、お互いを支え合っています。子ども達にとって保育所は初めての社会です。家庭のような居心地の良さも大切にしつつ、集団生活のなかで自分がどう行動するのか、自然と分かっていく環境を大切にしています。</p> <p>少人数の園なので、保護者との関わりにも余裕を持つことが出来、どんな小さなことでも一緒に考える時間が作れることや、子どもの成長を共に喜ぶ事ができる環境に恵</p>

まれています。
食育活動にも力を入れており、食に対する興味が小さい頃から着実に育まれています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月2日（契約日） ～ 2023 年11月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

◆子どもたちがいつもわくわくして好奇心と興味を持って活動を楽しめるよう援助しています

園はワンフロアで、中心に円形の調理室があり、その周りに保育室が円形に配置されているので、各クラスの子どもの様子を一目で見渡すことができます。子どもたちも日々の生活の中でそれぞれ別のクラスの存在を身近に感じながら過ごしています。

保育士は、子どもを尊重した保育を心掛け、子どもたちにこれから何をするか、言葉にして伝えるよう努めています。例えば散歩では、「働く車を見に行こう」「秋を探しに、葉っぱを集めよう」など目的を具体的に伝え、子どもは「ショベルカーはすごいね」「ゴミ収集車だ」と興味を示しながら歩いています。2歳児の子どもは「いっぱい葉っぱ見つけた」と教えてくれました。後日、集めた葉っぱを使って、4つのグループに分かれ、紅葉に色づいた大きな木を制作し、互いに披露しました。また、保育室から手洗い場への移動の際、ぶつからないように上手に歩くために線を引いたことを伝え、一方通行の約束をすると、楽しそうに線の上を歩いていく子どもや、線の上を平均台の上を歩く様に慎重に歩く子どももいて、遊びの中でルールを学んでいます。子どもたちは、散歩の支度や帰ってからの手洗いや排泄などで保育士の援助を必要としますが、保育士は常に子どもに言葉をかけ、手遊び歌や絵本を読んだり、スキンシップを図ったりと、子どもたちを待たせること無く、あいだの時間も楽しい時間になるように工夫しています。保育士は、子どもたちがいつもわくわくして好奇心と興味を持って活動を楽しめるよう心掛けています。

◆職員は一人ひとりの子どもの個性を認め、違いを共通認識して対応しています

園は、0歳児から2歳児の乳児に特化した保育園です。まだ生活面の自立していない子どもを受容するには、家庭との連携が大切と考え、保護者と情報共有に努め、毎日必ず連絡帳アプリを確認して保育に入っています。また、自分で気持ちや欲求を言語化して表現するのが難しい子どもには、保育士が子どもの気持ちを代弁して受け止め、常に優しく声掛けして丁寧な保育を心掛けています。職員は昼礼で午前中の子どもの状況を共有し、毎日のクラスミーティングでは、個々の子どもの発達や状況の変化などを話し合って同じ対応が出来るようにしています。カリキュラム会議では、個人指導計画を周知し、子どもの状況を全職員が理解しています。

◆園独自に職員の育成に努めています

会議の中で「職員の良いところを伝え合おう」というテーマで4回行い、各職員が相手の名前を書いた用紙に職員の良い点を書いた付箋を貼り手渡すことで、それぞれの職員に変化が見られ、保育の意欲に繋がっています。また、配慮しあえる環境を作り、全体で他のクラスを見て動けるようになり、全職員が園全体の子どもを見守る保

育をするようになっていきます。施設長は職員からアンケートをとり、やりたいことなどの声を吸い上げるようにしています。また、「想像力を働かせよう」をテーマに、その先に何があるのか、先を考えることの大切さを伝えています。子どもの保育に何が必要か、実践するとどうなると問いを投げかけ、繰り返すことで保育士が考える機会を持てるように努めています。

【今後期待される点】

◆**園の特徴を知ってもらい地域支援・地域交流を図ることを期待します**

園は、長期計画に地域交流の推進を掲げ、中期計画では地域支援事業の実施を挙げています。地域子育て支援事業として、園見学や育児相談を随時受け入れる他、年3回の育児講座を実施しています。また、防災対策の強化を課題としています。今後は、園の特徴である乳児保育の強みから、地域に特性をアピールして、出張講師などで園の存在感を強めて、育児相談や支援事業を継続して実施し、防災に関しても地域と連携した取組を期待します。

⑦**第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント**

川和ナーサリーは開園から12年目となり、この度2回目となる第三者評価を受審させていただきました。ご担当いただいた方々より保育活動への温かい評価とコメントをいただきましたが、これは一重に、今日に至るまで保護者の皆様がスターチャイルドの保育と運営にご理解をいただき、温かく見守っていただいた結果であると思いき感謝申し上げます。また、お子様の成長に携わらせていただいております職員にとっては、今後の保育を進めていく上での大きなモチベーションにつながるのではないかと感じました。受審に際して、様々な項目に関し職員間で話し合いを重ねたことで、園の課題を認識し取り組むきっかけとなりました。これからもスターチャイルドの保育理念『子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します』を胸に、さらなる向上を目指し自然に恵まれた環境の中で、地域の保育園として活動を続けてまいります。

末筆になりましたが、今回の受審にあたり、関わったすべての方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧**第三者評価結果**

別紙2のとおり